



石川県津幡町 町勢要覧

Tsubata Town Basic Information

2026



町章

「ツバ」を図案化して飛鳥の形とし、町の産業と文化の飛躍的發展を表現するとともに、大地に足をふまえた姿は町政の安定感を、円形は町民の円満と平和を表現しています。

(昭和41年1月11日制定)

町木

松



町花

つつじ



町の鳥

ハクチョウ



津幡町長 吉田 克也

津幡町は古くから加賀・能登・越中の三国を結ぶ交通の要衝として栄えてきた歴史を有し、河北潟や石川県森林公園に代表される豊かな自然と、快適で便利な都市環境が共存、調和したまちです。

近年では、金沢市への良好なアクセスを生かし、子育て世代にも選ばれるまちとして着実に発展し続けています。

本年からスタートした第6次津幡町総合計画では、「元気あり！住んでよし！誰もが輝くまち つばた」を将来像に掲げています。町民一人一人がまちづくりの主役として活躍し、誰もが住み続けたいと思えるまちの実現に向け、町民との対話を大切にしながら、安全安心で魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

本要覧により本町の現状をご確認いただき、さらなる町政発展のためにご支援ご協力を賜れば幸いに存じます。

津幡町民の誓い

昭和43年11月3日制定

わたくしたちは田園都市津幡町が県の中央に位して交通の要衝にあたり歴史と伝統に輝く町民としての誇りと責任を自覚し祖国が生んだ先哲福沢諭吉先生の遺訓を實踐して郷土の繁栄をねがい平和と文化の香り高い津幡町を建設することを誓います

(福沢諭吉訓)

- 一 世の中で一番楽しく立派な事は一生を貫く仕事を持つことである
- 一 世の中で一番みじめな事は教養のないことである
- 一 世の中で一番淋しい事は仕事のないことである
- 一 世の中で一番みにくい事は他人の生活をうらやむ事である
- 一 世の中で一番尊い事は人のために奉仕して決して恩に着せないことである
- 一 世の中で一番美しい事はすべてのものに愛情を持つことである
- 一 世の中で一番悲しいことはうそをつく事である



わたしたちのまち「津幡町」は、石川県のほぼ中央に位置します。

県都金沢市に隣接し、石川県の加賀地方と能登地方、そして富山県を結ぶ要衝の地として、古くから栄えてきました。

町の面積は110.59km²。東部には低い丘陵地が連なり、谷間の土地が枝状に発達、西部には幅2～3kmの平野部が広がり、県内最大の潟湖である河北潟へと続いています。

町中央部には、総面積が11.5km²と本州有数の規模を誇る「石川県森林公園」、西南部には日本海側でも有数の規模を誇る漕艇競技場「石川県津幡漕艇競技場」、東部の富山県との県境には源平合戦の舞台として木曾義仲が奇策“火牛の計”を用いたとされる「倶利伽羅峠」があります。



アクセス

■ 自動車をご利用の場合

- 北陸自動車道[金沢森本IC] → 国道8号 約10分

■ 電車をご利用の方

- JR東京駅 → <北陸新幹線かがやき> → 金沢駅 約2時間25分
- JR大阪駅 → <特急サンダーバード・北陸新幹線> → 〃 約2時間5分
- JR名古屋駅 → <東海道新幹線・特急しらさぎ・北陸新幹線> → 〃 約2時間

❖ JR金沢駅 → <IRいしかわ鉄道> → IR津幡駅 約10分

■ 飛行機をご利用の場合

- 羽田空港 → 小松空港 約1時間
- 羽田空港 → のと里山ポケモン・ウィズ・ユー空港 〃

❖ 小松空港 → <北陸自動車道・国道8号> → 約40分

❖ のと里山ポケモン・ウィズ・ユー空港 → <のと里山海道・国道159号> → 約1時間15分

津幡町のおもな歩み

1954年（昭和29年）	3月	津幡町、中条村、井上村、英田村、笠谷村が合併し、新津幡町誕生
	5月	羽咋郡河合谷村を編入合併
	10月	森本町浅谷を編入合併
1957年（昭和32年）	2月	倶利伽羅村を編入合併（人口22,673人）
1970年（昭和45年）	8月	全国選抜社会人相撲選手権大会を開催
1973年（昭和48年）	5月	県政100周年を記念した「県森林公園」が開園
	6月	河北潟東部承水路に「県漕艇競技場」が完成
1974年（昭和49年）	11月	町行政福祉センター完成
1978年（昭和53年）	12月	加賀地方と能登地方を結ぶ「国道159号津幡バイパス」が開通
1983年（昭和58年）	5月	全国植樹祭が県森林公園で開催
1990年（平成2年）	11月	国道8号倶利伽羅バイパスが開通。同159号津幡バイパスが一部開通
1991年（平成3年）	3月	町内全域に町鳥ハクチョウを模した案内標識板を設置
1992年（平成4年）	10月	旭山工業団地が完成
1994年（平成6年）	9月	津幡運動公園体育館が完成
		全国育樹祭が県森林公園で開催
	10月	ボートサミット・全国市町村交流レガッタ大会が県漕艇競技場で開催
1998年（平成10年）	4月	宿泊体験研修施設「倶利伽羅塾」が完成
2000年（平成12年）	3月	歴史国道案内施設「倶利伽羅源平の郷竹橋口」が完成
	6月	加茂遺跡から加賀郡勝示札が出土
2002年（平成14年）	8月	津幡運動公園陸上競技場が完成
2004年（平成16年）	8月	倶利伽羅源平の郷竹橋口が道の駅に認定
2005年（平成17年）	10月	津幡町文化会館「シグナス」が開館
2008年（平成20年）	3月	石川県と富山県を結ぶ「国道8号津幡北バイパス」が開通
2010年（平成22年）	6月	加賀郡勝示札が国重要文化財に指定
	7月	大河ドラマ誘致推進キャラクターに「よしなかくん」、「ともえちゃん」、「火牛のカーくん」、「火牛のモーちゃん」が決定
		MISIAの森プロジェクトが県森林公園でスタート
2011年（平成23年）	5月	津幡中学校・津幡南中学校と豪州ノーザンビーチス校が姉妹校提携
2012年（平成24年）	8月	
2013年（平成25年）	1月	町議会で通年議会を導入
	3月	県森林公園が森林セラピー基地に認定
	4月	町内全域でデジタル防災行政無線の運用を開始
2014年（平成26年）	4月	森林セラピー基地「津幡町・里山の森と湖 石川県森林公園」がグランドオープン
	10月	商店街空店舗に「まちなか科学館」を整備
2015年（平成27年）	3月	北陸新幹線金沢開業にあわせ「新幹線の見える丘公園」を整備
		加茂遺跡が国史跡に指定
	12月	町の資源をいかした町内産品をブランド品として認定する「津幡ブランド」制度を開始
2016年（平成28年）	4月	津幡ふるさと歴史館“れきしる”が開館
	8月	奥野家が国登録有形文化財に指定
		リオ五輪女子レスリング63kg級で川井梨紗子選手（緑が丘）が金メダルを獲得
	11月	女優の野際陽子さんに津幡町広報特使を委嘱
2017年（平成29年）	4月	落語家の月亭方正さんに津幡町広報特使を委嘱
	9月	レスリング選手の川井梨紗子選手（緑が丘）に津幡町広報特使を委嘱
	10月	国際ジャーナリストの蟹瀬誠一さんに津幡町広報特使を委嘱
2020年（令和2年）	12月	町役場新庁舎が完成
2021年（令和3年）	4月	「まちなか科学館」が「こども科学館」として文化会館「シグナス」にリニューアルオープン
	7月	宿泊体験交流施設「河愛の里 Kinschule（キンシュレ）」が開館
	8月	東京2020五輪女子レスリング57kg級で川井梨紗子選手（緑が丘）が、62kg級で川井友香子選手（緑が丘）が姉妹で金メダルを獲得
	10月	レスリング選手の川井友香子選手（緑が丘）に津幡町広報特使を委嘱
2022年（令和4年）	3月	町の歴史・文化・自然を紹介する「津幡かるた」が完成
		津幡町を舞台にした地域映画「遠くを見てみた」が完成
2023年（令和5年）	3月	住吉公園屋内温水プール「アザレア」が完成
	4月	津幡町福祉教育プラザが開所
	12月	AIオンデマンドバス「のーと津幡」を導入
		大相撲の太の里関（本名：中村泰輝さん）に津幡町広報特使を委嘱
2024年（令和6年）	6月	河北潟干拓地内に営巣するコウノトリ親鳥に津幡町定住促進特使を委嘱
2025年（令和7年）	2月	女子レスリング五輪金メダリストの金城梨紗子さん、恒村友香子さん（川井姉妹）に町民栄誉賞を贈呈
	4月	サンライフ津幡が町文化スポーツ交流館「レッスル」としてリニューアルオープン
	6月	第75代横綱太の里（本名：中村泰輝さん）に町民栄誉賞を贈呈
	12月	欧勝海関（本名：深沢成矢さん）に津幡町広報特使を委嘱



安土桃山時代から津幡の地に続く“八朔大相撲”を、1970年に日本相撲連盟公認のタイトル戦「全国選抜社会人相撲選手権大会」に改名。数々の大相撲力士を排出した“相撲どころ石川”を舞台に、全国から選抜された腕自慢の男たちが名誉ある内閣総理大臣杯をかけて争う。



加茂区にある加茂遺跡は奈良・平安時代の遺跡として知られ、2000年には日本最古のお触書「加賀郡勝示札」が発見された。遺存状態がよく、当時の生活や行政の実態がわかる資料として2010年に国重要文化財に、また加茂遺跡も水陸交通や地方役所の実態を把握できるさわめて重要な遺跡として2015年に国史跡に指定された。



一時は日本から絶滅した国特別天然記念物のコウノトリが、河北潟干拓地内に営巣し、ヒナが誕生。毎年同じ場所で子育てをする習性を持つことから、親鳥2羽に「コウタ（幸多）」「コウリ（幸里）」と名付け、津幡鳥民として特別住民票を交付。定住促進事業のマスコットキャラクターとして「津幡町定住促進特使」を委嘱した。



加賀地方・能登地方・富山県を結ぶ交通の要衝として栄えてきた津幡町。時は車社会に移り変わり、古からの町並みを残す町なかでは交通渋滞が絶えなかったが、全線高架化された津幡バイパスが1978年に開通したことにより、利便性が一気に向上。その後の人口の増加に繋がった。



食糧難解消のため、県内最大の潟湖「河北潟」で実施されていた干拓事業が1985年に完成。減反政策により、畑作や酪農への転換を余儀なくされたが、ブランド野菜や35万本のヒマワリが迷路を成す「ひまわり村」が人気を呼んでいる。干拓地内の雨水を放流する東部承水路には、日本海側随一の漕艇競技場が設置されている。



1183年、石川・富山の県境「倶利伽羅峠」を舞台に木曾義仲軍と平維盛軍が激突。義仲軍は、牛の角にたいまつを結んで敵軍へ追いたてる「火牛の計」を用いて勝利し、一気に京へ駆け上った。津幡町では「義仲と巴」を題材にしたNHK大河ドラマの実現に向け、2010年に4体のゆるキャラを制作した。

華々しく

八重桜（倶利伽羅峠）

清々しく

木窪大滝（木窪）



くりから夢街道ウォーク

倶利伽羅峠の源平合戦古戦場で、隣接する富山県小矢部市と大綱合戦を繰り広げます。イベント後は、歴史国道認定の「旧北陸道」を新緑を楽しみながら5.3キロの道のりを散策します。（4月下旬または5月上旬）



倶利伽羅さん八重桜まつり

6,000本の八重桜が峠をピンクに染める頃、倶利伽羅不動寺を主会場に八重桜まつりが行われます。

同時期に開催される和菓子まつりでは、厄除け「念仏赤餅」の販売もあります。（4月中旬～5月上旬）



県民みどりの祭典

83年の全国植樹祭、94年の全国育樹祭を記念し、県森林公園で毎年開催されます。間伐材を利用した遊具で遊んだり、キノコなどがたくさん入ったお鍋が振る舞われるなど、森の恵みを乐みます。（4月29日）



ひまわり村

河北潟干拓地内の一角に35万本のヒマワリが迷路状に植えられます。ヒマワリの高さはおよそ2m。大人でも迷うほどの本格迷路です。途中に設置される展望台から見渡す景色は圧巻です。（7月下旬）



つばたまつり

町最大の夏まつりです。各種模擬店の出店のほか、豪華ゲストを招いてのステージイベントや、町民踊り流しなどが披露され、町内全域から集まった来場者で会場は大いに賑わいます。（7月下旬または8月上旬）



倶利伽羅さん万灯会

高野山に伝わる「万灯会」を継承した、旧盆の恒例行事です。倶利伽羅不動寺西之坊鳳凰殿には約7,000個の灯明が並べられ、その光景は訪れた参拝者の心をやさしく癒してくれます。（8月15日）

神々しく



蓮如上人お手植えのイチョウ(笠池ヶ原)

凜々しく



河北潟干拓地(湖東)



つばたレガッタ

毎年、県内外から数多くのクルーが出場する漕艇大会。

漕ぎ手4人と舵手1人の5人で息を合わせ、500mのタイムを競います。熱いレースが終わると、津幡は秋を迎えます。(8月下旬)



獅子舞頭合せ

地理的条件から、町内では加賀・能登・越中と、異なる流れを汲む獅子舞が各地に伝えられています。

9月上旬に河合谷、9月中旬に津幡、9月下旬に英田、10月上旬に中条の各地区で獅子舞が競演します。



AkaReeT (アカリート)

俱利伽羅不動寺西之坊鳳凰殿を会場に、800個のスカイランタンが夜空に浮かびます。

打ち上げ花火とのコラボレーションは、より幻想的な雰囲気や空間を創り出します。(9月上旬)



どまんなかフェスタ

津幡町の中心部「おやど橋」を主会場に、テント市やダンス、音楽、ハロウィンにちなんだ仮装コンテストなどが行われます。また、石川工業高等専門学校の学生による家具コンテストも行われます。(10月下旬)



ハクチョウの越冬

加賀爪区の白鳥神社には、日本武尊の魂がハクチョウに姿を変え、降り立ったという伝説が残されています。

ハクチョウの親子が餌をついばむ姿はほほえましく、町の鳥に指定されています。(10月下旬～2月下旬)



科学の祭典

参加型の科学体験教室やサイエンスショーなどが催され、「科学のまち・つばた」を象徴するイベントです。子どもから大人まで、科学の楽しさや不思議さなど、科学の魅力を体験できます。(12月上旬)

130か所以上の公園

東京ドーム約246個分の大公園 石川県森林公園

津幡町には、町の面積の約10分の1にあたる広大な敷地を誇る石川県森林公園があります。開園50周年を迎えた2023年には、歌手のMISIAさんが名誉園長に就任しました。これを機に新施設を増設し、既存施設のリニューアルも行われました。全天候型の屋内木育施設「もりのひみつち」をはじめ、フィールドアスレチックやバーベキュー場などが整備されており、大自然の中でアクティブに遊んだり、家族で団欒のひとときを過ごせます。



もりのひみつち



フィールドアスレチック



バーベキュー場

県内唯一の「森林セラピー®基地」に認定

森林セラピーとは、科学的な効果が証明された森林浴のことで、心と体の健康維持・増進、病気の予防などを目指します。

一定の設備やプログラムが整備された施設は「森林セラピー®基地」として認定され、石川県森林公園は2013年に認定を受けました。

森林安息

森林を前に楽な姿勢で、風がそよぐ音や蝉の鳴き声、木々の葉がゆらめく音、鳥のさえずりを聞き、静かに過ごします。



さらなる癒しをプラス「森林セラピープラス」

森林セラピープラスでは、セラピーロードでの「森林散歩」と「森林安息」に「プラス」の体験を行うリラクゼーションプログラムを楽しむことができます。



バランスボール



ハンモック



ヨガ

津幡町には、都市公園をはじめ、大小さまざまな公園があります。県内でも珍しい大型遊具がある公園や、北陸新幹線が最高速度で走る姿を間近で見ることができる公園など、それぞれに特色があります。幹線道路からアクセスしやすい公園も多く、思いっきり体を動かしたり、景色を楽しんだりすることができます。



ふわふわドームが人気!! あがた公園

トランポリンのように跳ねる・転がる・滑る・寝転がるなど、多彩な運動を楽しめる「ふわふわドーム」、水遊びができる「噴水広場」があります。



大型遊具が盛りだくさん!! 中条公園

長いローラー式滑り台やアスレチック遊具、ネットトランポリンなど、さまざまな大型遊具が配置されています。



北陸新幹線を一望できるスポット!!

新幹線の見える丘公園

走行する北陸新幹線を一望できます。公園内には、新幹線の通過時刻表も設置されています。



屋内温水プールも整備 住吉公園

屋内温水プール「アザレア」をはじめ、大型遊具やグラウンド、ウォーキングコースなどが整備されています。



町内には認定こども園・小規模保育事業所が11か所あり※、それぞれの園の特色をいかした保育のほか、休日保育や延長保育、病後児保育なども行っています。また、石川県森林公園の屋内木育施設「もりのひみつち」は、いつでも体を思いっきり動かせる施設として子どもたちに大人気です。

相談窓口は、町役場のこども家庭センターや児童センター、子育て支援センターに設置するほか、18歳までの子ども医療費の無償化など、制度の面でも子育てしやすい環境を整えています。

※2026年4月1日現在

遊び・交流・相談の場

屋内木育施設「もりのひみつち」

子どもたちがワクワクする仕掛けが満載！中央には立体的な遊具があり、木の香りやぬくもりを感じながら、滑り台やネットなどで思いっきり体を動かすことができます。また、0歳から遊べるフロアや障がいの有無に関わらず楽しめる遊具も充実しています。

大人も童心にかえられる心地よい空間で、家族との思い出づくりやリフレッシュにおすすめです。



児童センター

子育て中の親子や、小学生～高校生までの遊び場・交流の場として利用できます。

通年で乳幼児親子の教室や小学生の会員制教室を行い、工作やあそびのチャンピオン大会、ウィンタープレゼントなどの季節イベントも開催しています。

児童センターは文化会館「シグナス」内にあり、シグナスには図書館やホール、こども科学館も設置されています。



子育て支援センター

町内の5つの認定こども園と親子支援センターに設置されており、身近な場所で妊娠・出産から子育てまでの支援を受けることができます。

育児相談や子育てサークルなどの育成・支援のほか、子育てに関するイベントなども開催しています。



福祉教育プラザ

親子支援センターと教育センターを併設した複合施設です。

親子支援センターでは、子育てひろばを利用できるほか、各種イベントや講座への参加、子育てに関する相談ができます。

教育センターには、心に不安や悩みがあり学校に行きづらい小中学生を対象とした教育支援センター「パイ教室」が設置されており、職員や臨床心理士が保護者の方からの相談にも対応しています。

子育ての総合相談窓口

こども家庭センター

妊娠期から18歳までのすべてのお子さんの健やかな成長を、地域ぐるみでサポートする相談機関です。役場子育て支援課内に設置されています。

お子さんや保護者の方々、一人ひとりの状況に応じた支援を行います。

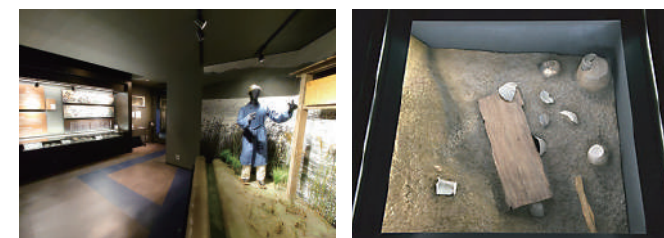
こども科学館(文化会館「シグナス」2階)

「科学のまち・つばた」を推進する町の中心的な施設です。館内には、子どもから大人まで一緒に遊べる手作りの科学おもちゃがあふれています。



津幡ふるさと歴史館 愛称:れきしる(津幡城跡)

町のさまざまな時代の文化財や歴史を紹介しています。日本最古のお触書で国重要文化財に指定されている加賀郡勝示札*の出土状況も再現しています。 ※展示はレプリカです



河合谷宿泊体験交流施設

かわい キン シ ュー レ 河愛の里 Kinschule (河合谷小学校跡地)

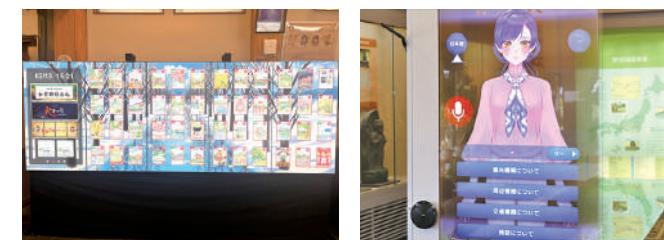
先人が禁酒により費用を捻出、改築した小学校の跡地にある宿泊体験交流施設です。

多様な体験プログラムを通して里山の自然が楽しめます。



道の駅 倶利伽羅源平の郷

源平合戦「倶利伽羅峠の戦い」で有名な倶利伽羅地区にあり、AIアバターを導入した歴史資料館、宿泊施設、温浴施設を備えた道の駅となっています。



住吉公園屋内温水プール「アザレア」をはじめ、「誰もが元気に暮らす」ことができるように健康づくり・福祉・医療施策を行っています。

健康増進の場

住吉公園屋内温水プール「アザレア」



町の花「つつじ」の英訳「アザレア」という愛称がつけられました

水深1.2mの25mコースが5レーンあるメインプールをはじめ、水深1mの多目的プールや幼児用プールも用意されており、しっかり泳ぎたい方から健康維持のために気軽に利用したい方まで、幅広い世代の方が利用できます。プールにはスパプールや採暖室も併設されており、運動で疲れた体を癒しながら利用者同士で交流することもできます。

スタジオでは、専門の講師による運動教室が開催されています。フィットネスエリアにはさまざまなマシンのほかにストレッチスペースもあり、個人の体力に合わせた運動を行うことができます。



多目的プール



メインプール



フィットネスエリア

健康づくりの取り組み

各種スポーツ・運動教室の推進

(一社)津幡町スポーツ協会が主体となり、小学生を対象にしたスポーツ教室や中高年の方を対象にした運動教室を開催しています。

町西側に広がる河北潟では、ナックルフォア艇を体験できる「ふれあいボート教室」も開催しており、親子や友達同士でボートを楽しむことができます。

また、生涯にわたってスポーツを楽しむことができるよう、講習会も実施しています。



食育の推進

子どもから高齢者まで、全ての世代の方に健全な食生活の普及を図るため、地域やこども園・小学校などで食育を行っています。

特に、規則正しい食生活を通して生活習慣病を予防するため、「AYT(朝に野菜を食べよう)」運動を展開し、各公民館での料理教室やこども園・小学校などの献立に活用し、普及を図っています。



福祉・医療

福祉総合相談窓口「地域包括支援センター」

町民のみなさんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、福祉の総合相談窓口として地域包括支援センターがあります。

地域包括支援センターでは、高齢者や障害のある方などが健康・生活・福祉・介護・医療などのさまざまな面から適切な支援につながるよう、介護や障害の専門職、事業所と地域が一体となって連携し、住民の暮らしを支えています。

また、経済的な困りごとや成年後見制度、こころの健康に関することなど、総合的な相談にも対応しています。



介護予防の取組

身近な地域で一人ひとりが主体的に活動できることを目指し、さまざまな介護予防の取り組みを行っています。

町では、住民主体型のボランティアである「介護予防メイト」を養成し、地域のいきいきサロンなどで介護予防や認知症予防の活動を行っています。さらに、「介護支援ボランティアポイント事業」や「介護予防チャレンジ事業」を通じて、住民の介護予防や健康増進につながる取り組みを行っています。

また、病気や高齢などにより生活機能が低下してきた方を対象に、専門職が集中的に支援する「健康アップ教室かがやき」を開催しています。



介護予防メイトの活動

地域との連携による福祉の推進

公民館単位で地区くらし安心ネットワーク委員会が設置され、地域住民が主体的に自分たちの地域について考え、さまざまな活動を行っています。地域の課題に対して、行政をはじめ各種団体などと連携しながら、支援につながる仕組みづくりを行っています。

萩野台くらし安心ネットワーク(くらし安心萩野台)、英田くらし安心ネットワーク(地区社協あがた)では、地区社会福祉協議会としての活動を行い、地域に根付いた取り組みを進めています。

また、「津幡町手話言語条例」の制定により、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指し、福祉の推進を図っています。



地域医療～ 公立河北中央病院

「地域に密着した医療を提供し、安心して暮らせるまちづくりに貢献する」ことを理念に、医療・介護・生活支援サービスを提供することにより、地域住民が安心して生活できる体制を整備します。

近隣の大学病院から専門医の派遣を受け、充実した体制で質の高い医療を提供しています。より高度な専門医療が必要な場合は、最も適切な医療機関に紹介します。



「住み慣れたまちで暮らし続ける」ことができるように、人にも環境にもやさしいまちづくりに取り組んでいます。

交通網・公共交通 町営バス

住み慣れた地域で暮らし続けるために必要な公共交通。誰もが移動しやすい快適なモビリティ環境を形成するため、定時定路線の町営バスに加え、利用者の予約を受けて運行するAIオンデマンドバス「のるーと津幡」を導入しています。

時刻表や決まった運行ルートはなく、AIが予約状況に応じて最適なルートを選択し、効率的に目的地まで移動する新しい乗り合い型の公共交通です。

需要に応じて運行し、複数人を同時に乗せることで車の利用効率を高め、交通量や温室効果ガスを削減できます。

AIオンデマンドバス「のるーと津幡」



便利な交通網

IRいしかわ鉄道線2駅、JR七尾線3駅を有し、国道8号や国道159号などの主要な道路から容易にアクセスできるほか、北陸自動車道金沢東IC、金沢森本IC、のと里山海道白尾ICなどにも近接しており、恵まれた交通環境にあります。

金沢市中心部まで車で約20分、電車なら約10分。加賀方面、能登方面、富山県へもアクセスが良く、東京・大阪・名古屋の大都市圏とは、新幹線や特急でそれぞれ3時間以内で結ばれています。

環境・ゼロカーボン

ゼロカーボンシティ宣言

2022年6月に、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。町民・事業者・行政が一丸となり、脱炭素社会実現に向け、再生可能エネルギーの導入や省エネルギー活動を積極的に推進します。

再生可能エネルギーの導入・活用の推進

温室効果ガスの排出を抑制し、環境や家計にやさしい省エネ・創エネ・蓄エネ設備を導入する一般家庭や事業所に補助金を交付しています。



ごみの減量化、リサイクルの推進

環境への負荷を軽減し、循環型社会の実現のため、毎月1回行っている地区単位の資源物回収に加え、役場駐車場内に設置しているリサイクルエコステーション「つばたReco（レコ）」でも毎日（年末年始・荒天時除く）24時間、空き缶やペットボトルなどの資源物を回収しています。



町の資源を生かした町内産品を「津幡ブランド」として認定し、全国に向けて町の魅力を発信しています。一部のブランド品は、ふるさと納税の返礼品として活用しています。



津幡ブランド

魅力ある町内産品

津幡ブランド



ふるさと納税





津幡町ガイドマップ

TSUBATA-TOWN GUIDE MAP



津幡町文化スポーツ交流館「レッスル」
レスリング場や体育館、多目的室などを備えた複合施設です。津幡町出身の女子レスリング競技オリンピック金メダリスト「川井姉妹」こと金城梨紗子さん、恒村友香子さんの偉業を讃える展示も常設されています。

まちづくりの将来像

元気あり！住んでよし！誰もが輝くまち つばた

まちづくりの視点

・持続可能なまちづくり

津幡町にあるさまざまな資源や魅力を最大限に引き出しながら、新たな魅力を創出するとともに、それらを支える行財政基盤を確立し、未来につなぐ礎とします。

・つながりを深め広げるまちづくり

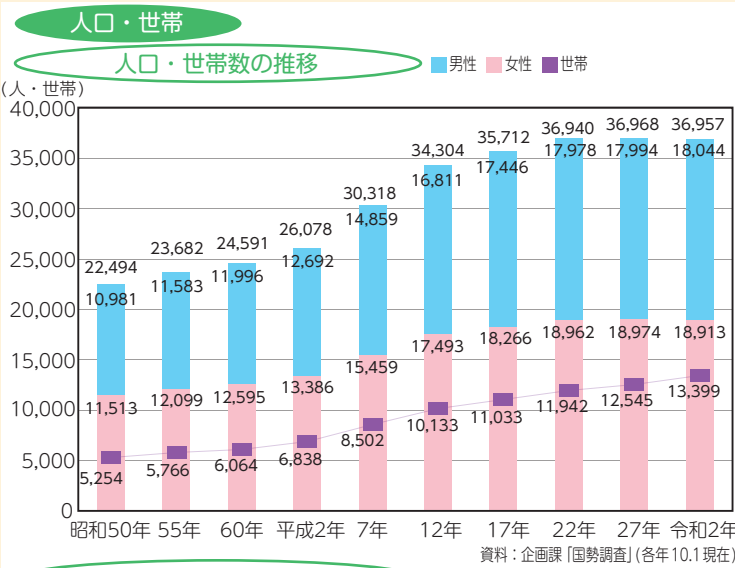
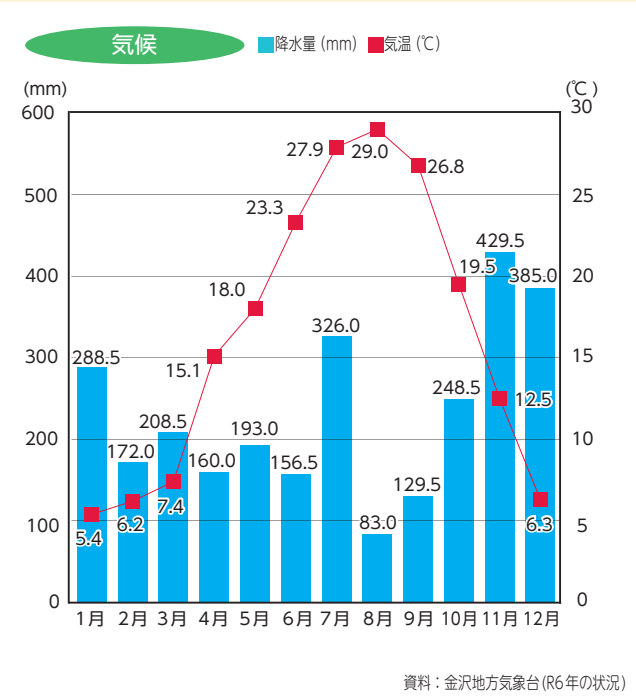
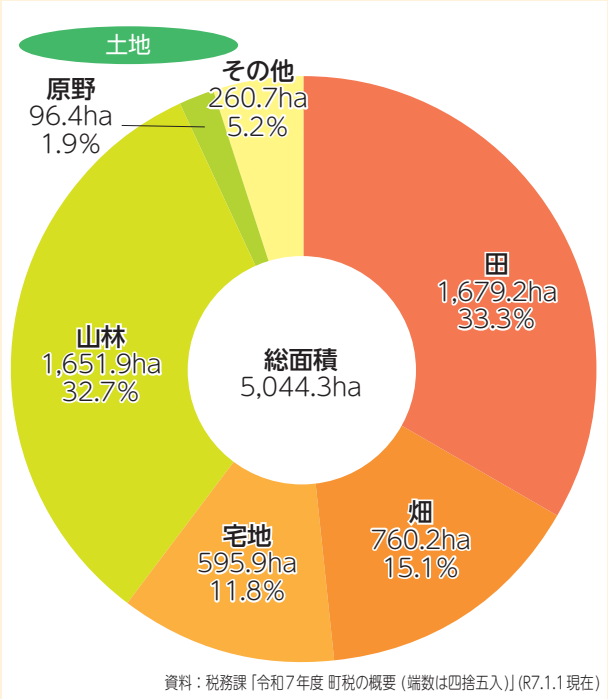
時間や場所の制約がないデジタルコミュニケーションの活用や、多世代や多文化が共生する、広域的で多様な人や組織の交流の場を創出します。

・住民主体のまちづくり

地域の住民が主体的に参加し、協力し合いながら課題の解決や環境づくりを進めることで、住民の意見やニーズが反映された、より実効性のあるまちづくりの実現を目指します。

まちづくりの基本目標

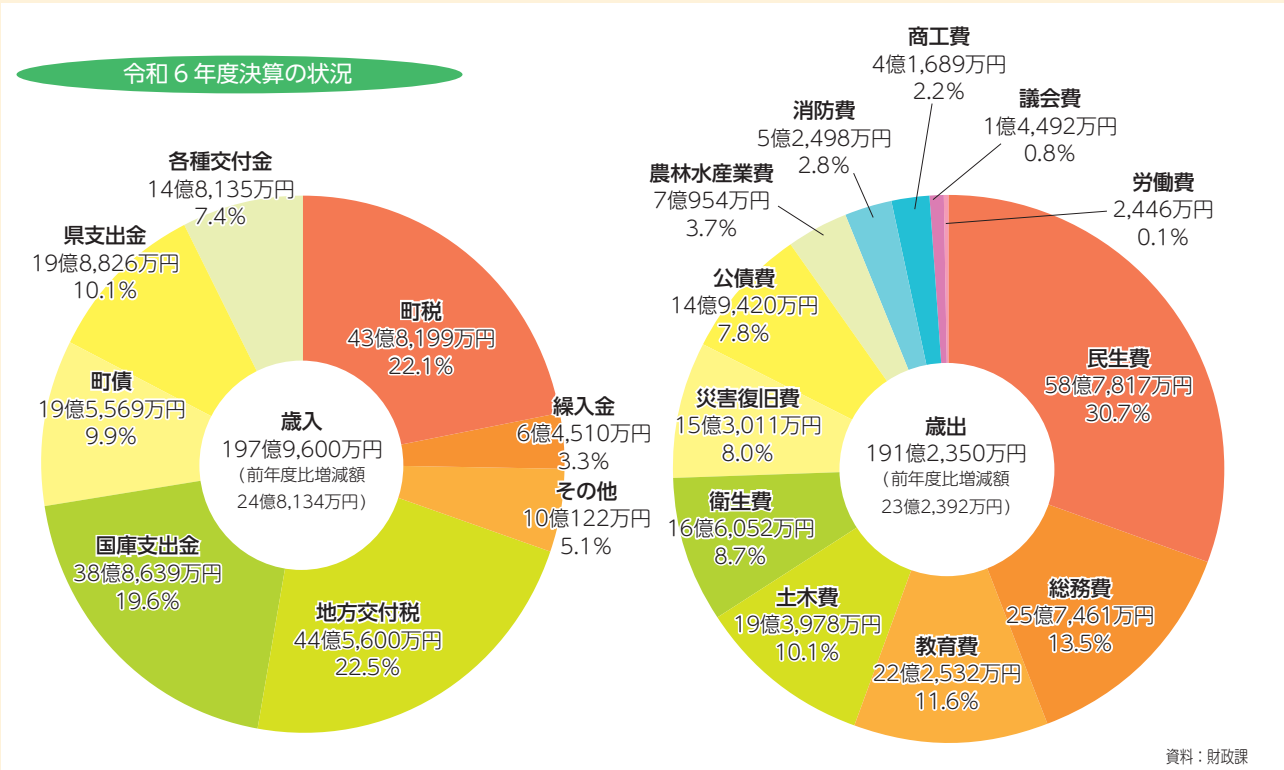
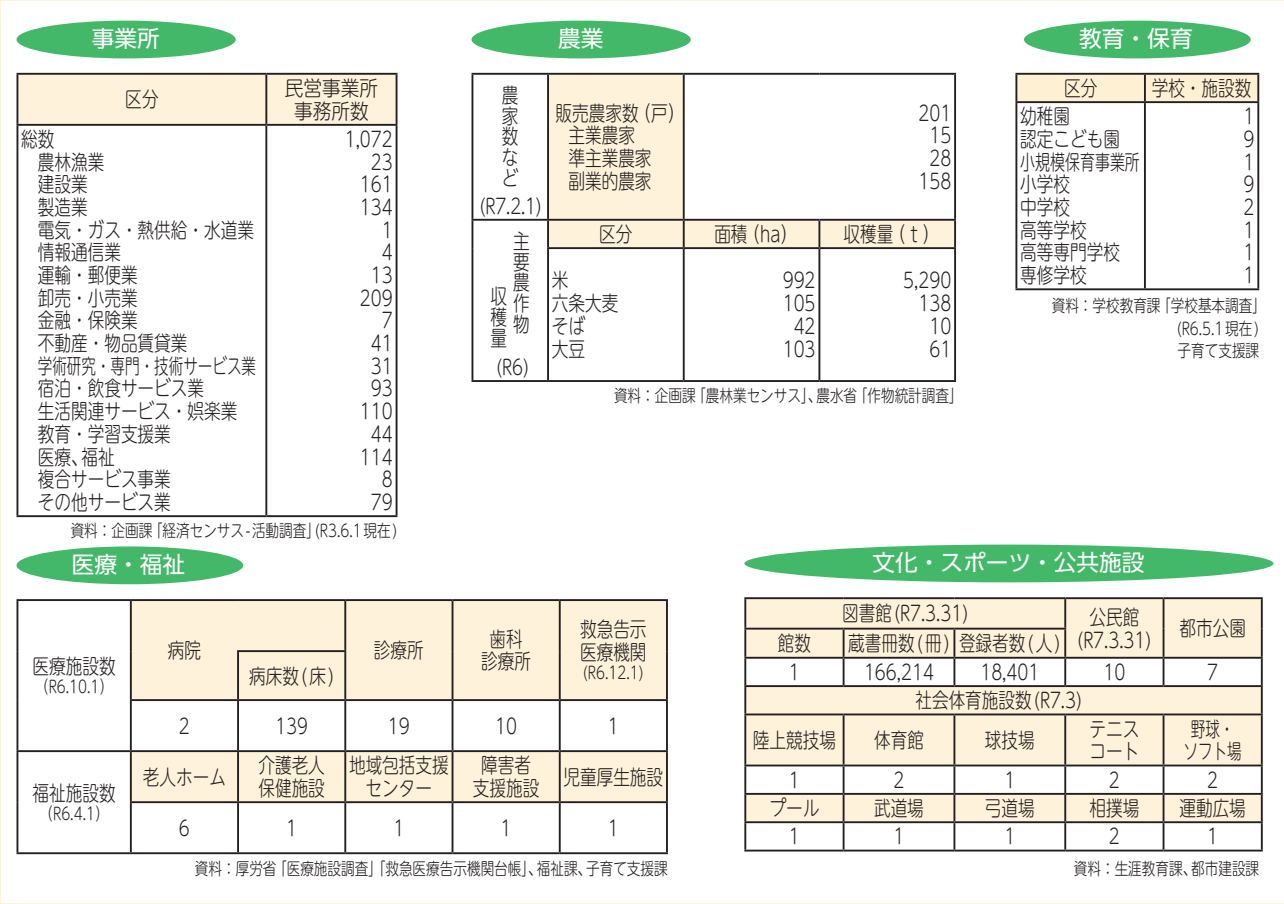
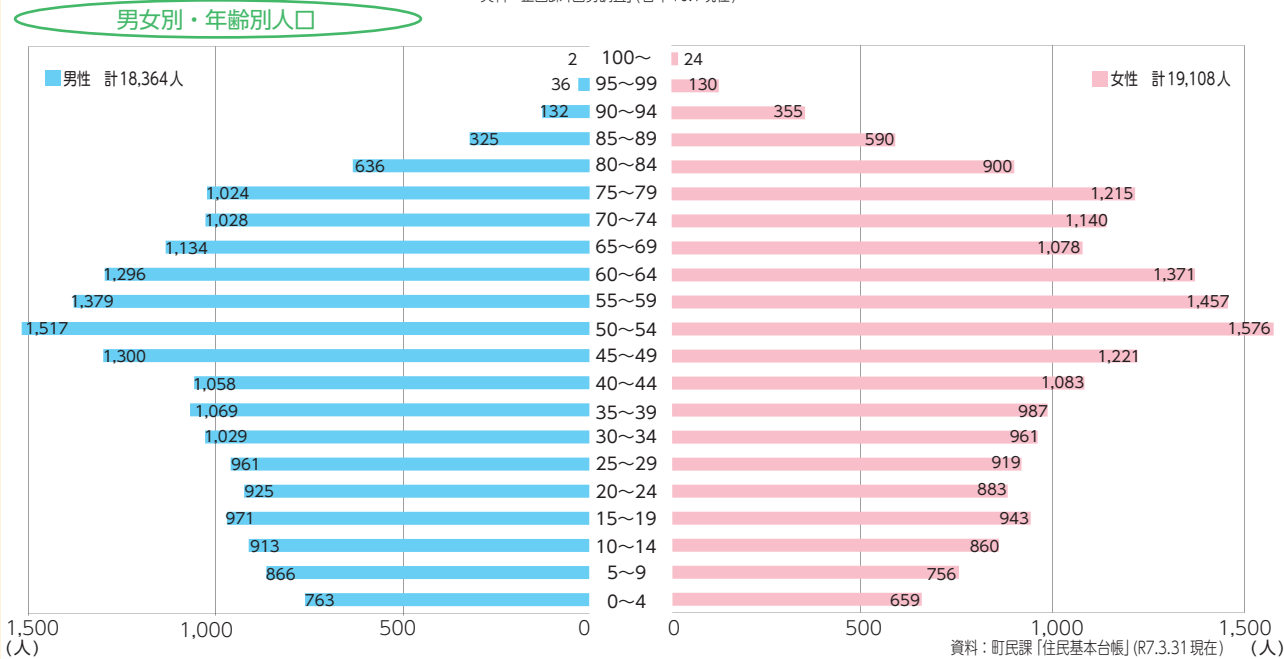




人口動態

自然動態(人)		
出生	死亡	増減
236	368	△132
社会動態(人)		
転入	転出	増減
1,319	1,084	235
総増減(人)		103

資料：町民課 (R6年度の状況)



数字で見る

津幡町



津幡町ホームページ



津幡町公式SNS



津幡町移住定住PRサイト
「きまっし！やさしさの街つばた」